

全国で生息域を広げている 特定外来生物

水稻や野菜などの農作物に被害



前脚の親指は小さく、通常4本の指跡が残る



ヌートリア

頭胴長50~70cm、尾長35~50cm、体重4~5kg、体色は灰褐色、オレンジ色の門歯と水かきのついた後肢が特徴です。

写真提供:鳥取県生産振興課「鳥獣対策虎の巻」(鳥取県版鳥獣被害対策マニュアル)

繁殖力が強く、家屋にも浸入し噛まれることも



体調は2.5~3mmと小型ではあるが、触覚が長く動きが素早い

アルゼンチンアリ

繁殖力が強く、日本に昔からいた在来のアリを駆逐してしまうなど、生態系への影響が生じています。いったん定着してしまうと、駆除は困難です。

写真提供:復建調査設計株式会社

毒をもっているのは雌だけで、噛まれると生命に影響する場合があります

背面



背面に赤色の縦条

腹面

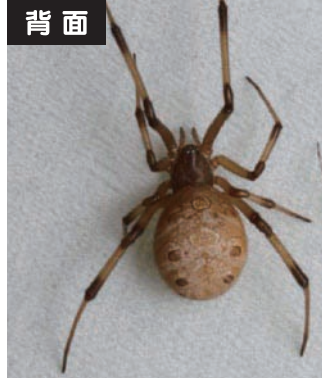


腹面に赤色の斑紋、腹部は大きな球状

セアカゴケグモ

成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条があります。

背面



腹面



腹面に赤色の斑紋、腹部は大きな球状

ハイロゴケグモ

ハイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として斑紋を有するものなど様々です。

写真提供、掲載文参照:環境省作成「セアカゴケグモ・ハイロゴケグモにご注意ください!」

\\ 外来生物被害予防3原則 //

入れない

捨てない

拡げない

愛媛県では、特定外来生物の情報を集めています。捕獲・目撃・痕跡等の情報がありましたら、御連絡ください。

生物多様性センター ☎089-931-8757(愛媛県立衛生環境研究所内)